

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	1	地域ブランドの活用と確立

事業名	マスコットキャラクター運営事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市のマスコットキャラクターを作成し、さまざまな場面で活用することで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティセールス(地域PR)を図る。
(事業概要等)	市制施行70周年を機に市マスコットキャラクター「おづみん」を募集・制作し、イラストやグッズによるPRのほか、着ぐるみによる各種イベント、メディアへの出演により、広くシティプロモーションを図った。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,912	1,151	1,631	2,084	
うち市負担分(千円)	2,008	787	37	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
イラスト使用承認件数(一般向け)	件	36	15	23	25
着ぐるみ参加イベント数	件	77	19	17	20
着ぐるみ貸出件数(一般向け)	件	26	5	10	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市のマスコットキャラクターとして、地域のイベントにおいて活用することで、市民の郷土愛の醸成に大きく寄与している。また、「おづみんTwitter」の開設により、市内外を問わず、広く本市のシティセールス(地域PR)を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	着ぐるみ活動の一部民間委託(平成27年7月) 『おづみんTwitter』を開始した。(平成28年8月)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	イベントの開催が徐々に増えてきて、それに伴い「おづみん」の露出度も増えてきた。一方で、ゆるキャラグランプリが終了するなど、全国的な流行に陰りがあるため、新たなファンを獲得するための工夫が必要。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 地域の子どもからの人気は高く、市の魅力向上に大きく寄与している。また、キャラクターを通じて、本市に関わりのない人にもPRできている。
改革・改善策等の具体的内容	市制施行80周年を契機にLINEスタンプを制作し、市公式LINEアカウントの新規・既存の登録者に配布する。既存の登録者には日ごろの感謝の気持ちを伝えるとともに、新規登録者には今までにないアプローチで「おづみん」及び市の認知度アップを図り、フォロー数を増やす。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	①	地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業(泉大津未来ビジョン事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	泉大津の将来に向け、未来を担う子供たちの健全な育成と、豊かな市民生活の実現を目的として開催する「泉大津未来ビジョン」を充実させ、「繊維のまち・泉大津」をPRする。
(事業概要等)	泉大津未来ビジョンにおいて実施する「毛布・ニット謝恩セール」などの各行事に対して補助支援を行う。 ○商連わいわいフェスタ ○毛布謝恩セール ○ニット謝恩セール ○おづみんフェスタ ○泉大津マルシェ

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,000	0	3,515	4,000	
うち市負担分(千円)	4,000	0	3,515	4,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
未来ビジョンが実施した補助対象事業数	件	5	-	5	5
支援を行った事業への参加者数	人	18,754	-	11,670	20,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各事業において事業内容の変更や縮小があったが、感染症防止策や分散実施など工夫をしながらそれぞれが動員を図る結果となった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成23年度から補助額を5,000千円から4,000千円に引き下げた。
--------	-------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本事業は、泉大津市全域にわたり実施される事業であり、「繊維のまち・泉大津」を市内外にPRでき、まちの活性化を図ることができる事業であるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	①	地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業(染色整理業活性化補助金)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、染色整理事業者で構成される大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が行う染色整理業の振興を図るための取組みを支援し、地域産業の振興に資する。
(事業概要等)
大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が染色整理業の振興を図るために行う取引条件の改善に寄与する事業及び各事業者が地域産業基盤安定化事業として実施する構造改善のための取組みに関する指導等の取組に対する補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	140	130	
うち市負担分(千円)	0	0	140	130	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。					
(成果の概要)					
染色整理加工事業者の加工技術研修、取引慣行改善に取組み、業界のサプライチェーン維持活性化を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が実施する事業に対し、引き続き支援を行う。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	①	地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業	担当課名	地域経済課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市地域経済の重要な位置を占める繊維関連産業における販路開拓、新商品・新技術の開発のための取組みを支援し、もって地域産業・経済の発展に資する。

(事業概要等)

地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域製品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や調査研究事業、異業種交流など地域産業振興に係る「新商品・新技術事業」に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,982	5,764	5,971	6,837	
うち市負担分(千円)	6,982	5,764	5,971	6,837	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
補助事業者数	件	5	5	5	5

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域製品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業、オンラインを活用した販路開拓など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や、調査研究事業、異業種交流などの「新商品・新技術事業」に対し支援し、地域産業・経済の発展に資することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 販路開拓事業では「繊維のまち・泉大津」のPRが、新商品開発事業では展示会において成果が出ており、今後も事業の拡大及び成果が期待できる。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	②	地域ブランドの活用と確立

事業名	織編エッセイ賞事業	担当課名	地域経済課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域産業の活性化を図る。
(事業概要等)	衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容のエッセイを広く公募する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,760	1,970	1,968	2,317	
うち市負担分(千円)	1,560	1,770	1,768	2,117	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
「泉大津市オリアム随筆賞」応募件数	件	339	382	342	400
「文学フォーラム及び表彰式」来場者数	人	-	32	41	100

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

関西を代表する著名人が選考委員を務めるオリアム随筆賞(衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容のエッセイ)を実施し、国内生産の約90%を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることができた。
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により例年開催している「文学フォーラム」は、参加者を大阪府内在住者限定(事前予約制)とし、選考委員と受賞者による表彰式及びオリアムエッセイ教室を実施した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成26年度から泉大津市民を対象とした特別賞(泉大津市長賞)を新設した。
--------	--------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	より効果的な広報活動を実施し、応募者数及び文学フォーラムにおける来場者数を増加させることにより、本市の知名度を上げ、地域の活性化を図る必要がある。また、泉大津市民の応募が少ないことから、本事業への市民の認知度を上げ、多くの方に参加いただくことにより、市民に対しても「繊維のまち・泉大津」をPRしていく必要がある。応募があった作品の要件確認や選考委員会に掛ける際の作品の文字起こしなど、ノンコア業務の負担が大きい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 泉大津市民からの作品応募が少数であり、市民の認知度を上げ、応募者数を増やす必要がある。 ノンコア業務の負担が大きく、事業の継続していくには、改善が必要と考える。
改革・改善策等の具体的内容	泉大津市内の中学校、高等学校と連携し、エッセイ教室、セミナーなどを開催し、市民への周知と応募者数の増加を図る。 ノンコア業務のデジタル化、委託等を検討し、事業の継続が可能な体制を作る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	②	地域ブランドの活用と確立

事業名	日本一の毛布のまちPR事業	担当課名	地域経済課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の特産品である毛布の製造、または販売する事業者の振興、ならびにその特産品のPRによる産業振興を図る。
(事業概要等)
特産品のPRによる産業振興を図るため、本市内の空き店舗等を利用し、特産品のPRかつ販売をする事業に対し支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	237	200	200	200	
うち市負担分(千円)	237	200	200	200	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
空き店舗等を利用し、販売活動を実施した回数	回	8	9	8	8
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市の特産品である毛布のPRを行い、本市内も含む全国へ「日本一の毛布のまち泉大津」をアピールすることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本市の特産品である毛布のPRを行い、「日本一の毛布のまち泉大津」を広くアピールすることができた。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(会社設立支援事業補助事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内における創業・起業を促進することにより、本市の更なる地域産業の活性化を図るため、本市内に本店を置く会社等(株式会社、合名会社、合資会社又は合同会社)を新たに設立する者に対する設立時の経済的支援事業を行う泉大津商工会議所に対し補助金を交付する。
(事業概要等)
会議所を申請窓口とし、本市内に本店を置く会社等を新たに設立する事業者の定款作成に係る設立当初の経済的負担を支援することにより、本市内における創業、起業を促進する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	456	1,535	R4年度はふるさと 応援基金充当
うち市負担分(千円)	-	-	456	467	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
補助事業者数	社	-	-	10	30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
初めて創業・起業する事業者や個人事業主からの法人化する事業者の経済的負担を支援することができ、今後の円滑な事業運営に寄与することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き本事業を実施することで、本市における創業者の支援につながると考える。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(創業支援事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
産業の活力を維持し、より一層発展していくため、泉大津商工会議所が行う市内での創業促進のための取組みなどを支援し、市内産業の振興に資する。
(事業概要等)
泉大津商工会議所が創業促進のために実施する創業セミナーや市内開業者への設備補助等の取組みに対する支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	591	790	906	1,140	R3,R4年度はふるさと応援基金充当
うち市負担分(千円)	591	790	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
創業セミナーの参加者数	人	11	29	19	20
設備補助事業者数	件	9	12	13	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が行う創業支援事業に対し、市内開業者の振興を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	H30年度から創業時の経費負担を軽減するため市内開業者への設備補助制度を創設した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	創業希望者に対する創業しやすい環境づくりなどの支援が必要である。
---------	----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内での創業・起業の促進を図るため、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(創業支援補助金事業)	担当課名	地域経済課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市内で新たに創業する者に対し支援を行うことにより、本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出す。
(事業概要等)
本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出すため、本市内の空き家及び空き店舗等を活用し、新たに創業する者に対し家賃補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	235	515	540	1,200	R3、R4はふるさと 応援基金充当の ため
うち市負担分(千円)	235	515	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
支援事業者数	社	4	8	7	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市市内で新しく事業を始める事業者に対して、初期投資を軽減させるための家賃補助を行い、本市内の起業を促進させることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成31年度から、空き家の条件である建物の未使用期間を6ヶ月から3ヶ月に変更し、利用可能である範囲を拡大した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内での企業を促進するため継続して取り組む。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑤	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(中小企業事業資金融資関連事業)	担当課名	地域経済課
-----	--------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内中小企業者の経営の安定と振興を図るため、中小企業信用保険法に基づく大阪府制度融資に関する業務及び利子補給等の関連業務を行い、市内産業の振興に資する。
(事業概要等)
市内中小企業者に対し、中小企業信用保険法に基づく大阪府中小企業事業資金融資のあっせん及び特定中小企業者の認定等の業務を行うとともに、長引く経済不況による影響に対処するため、市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給する中小企業事業資金利子補給制度を実施する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	950	927	612	1,000	
うち市負担分(千円)	950	927	612	1,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
利子補給件数	件	84	81	56	75
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給することにより、市内中小企業者の経営の安定と振興を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	利子補給制度について、平成21年度から日本政策金融公庫が行う小規模事業者経営改善資金融資を、平成22年度から生活衛生改善貸付を対象融資に加えた。 平成24年7月から日本政策金融公庫が行う新規開業資金を対象融資に加えた。 平成26年10月から大阪府が行う開業サポート資金(地域支援ネットワーク型A<創業>・B<創業等>)を対象融資に加えた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市内にある全ての事業者を把握することは困難で、制度自体のより一層の広報・周知が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本事業のうち、大阪府制度融資に関する業務及び利子補給については、原則的にこれまでの体制を継続する。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑥	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(産業活性化事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の商業の発展及び振興を図るため、各種団体が自ら主体となって行う活性化事業に支援を行い、市内商業の活性化に資する。
(事業概要等)
商店街の空き店舗を活用した事業や、商店街の来街者増加に向けた各種イベント事業に対し、支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,390	1,369	2,775	3,521	
うち市負担分(千円)	2,390	1,369	2,775	3,521	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
補助団体数	団体	2	1	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
商店街の空き店舗を活用し、カルチャー教室を開催する等、地域消費者の利便性向上や来街者増加から、市内商業の振興を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、商業の発展及び振興を図るため、商業関係団体が実施する商業活性化事業に対し支援を行う。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑥	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(キャッシュレス推進支援事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市の事業者・商工業者の活性化を図るため、キャッシュレス決済の環境整備を支援し、市内商業・商工業の振興に資する。
(事業概要等)	市内のキャッシュレス決済対応端末の導入などのインフラ整備を進める事業者に対し、費用の一部を助成するなど、キャッシュレス推進支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	710	440	76	531	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
キャッシュレス決済端末導入支援件数(R2年度は別事業実施)	件	10	/	2	10
(指標を設定できない理由)					
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が市内の事業者・商工業者のキャッシュレス推進を図るために実施した取組み(キャッシュレス決済端末や周辺機器の導入費用を助成)を支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	近年はキャッシュレス化の流れ、新たなキャッシュレスが出ていることや、決済手数料、入金サイクルなど事業者には負担が、キャッシュレス促進の障害となっている。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) キャッシュレス決済端末の導入支援の内容の拡充を行い、キャッシュレス化の流れに市内事業者が取り残されないよう引き続き支援を行う。
改革・改善策等の具体的内容	キャッシュレス決済端末(スマレジ)の導入支援を行っているが、端末の型番等を指定しているため、型番指定などの要件を緩和し、事業者の申請の促進を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	⑥	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(販路開拓事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内の事業者・商工業者の活性化を図るため、泉大津商工会議所が行う、新規顧客獲得のための販路開拓事業に関する取組みなどを支援し、市内商業・商工業の振興に資する。
(事業概要等)
市内の事業者・商工業者の新規顧客獲得のために泉大津商工会議所が実施する集客イベントなど、販路開拓に関する取組みなどへの支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,325	2,716	3,769	4,375	R3,R4年度はふるさと応援基金充当
うち市負担分(千円)	3,325	2,716	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が市内の事業者・商工業者の販路開拓を図るために実施した取組みを支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、市内の商業・商工業の発展及び振興を図るため、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	②	地域ブランドの活用と確立

事業名	泉大津プロモーション事業	担当課名	地域経済課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	泉大津市の知名度を上げ地域の活性化を図るため、行政と産業界が一体となって市のPRを行う。
(事業概要等)	市のPRのため、野外コンサート会場や全国各地のイベントなどでのシティプロモーションの実施や、泉大津駅におけるイルミネーション事業、特産品PR等の事業を展開する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,500	6,500	5,700	5,700	R2、R3、R4は、ふるさと応援基金充当
うち市負担分(千円)	3,500	3,500	3,500	1,300	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
市のPR活動を目的としているため。					
(成果の概要)					
地元繊維メーカーとの協力により、泉大津市立図書館内に新たな特産品直売所「GO-ON」がオープンし、駅前商業施設内での特産品販売が可能になったことや、全国の展示会に出展するなど、繊維のまち泉大津を市内外にPRすることができた。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてイベント等の中止はあったものの、市内散策を促進するデジタルスタンプラリー等、ARシステムを活用したプロモーション活動や駅前でのイルミネーションなど、市内外に向けて、特産品や本市の魅力を広くPRすることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍において、集客効果のあるイベント等の代わりとなる事業により、効率的に本市の知名度を上げ、地域の活性化を図る必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 新たな事業を含め、「繊維のまち・泉大津」のPR事業等を展開することができた。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供

事業名	農地対策事業	担当課名	地域経済課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の農業振興のために欠かすことのできない農業用ため池の保全を行う。また、ため池の適正な維持管理のために管理者である水利組合に必要な支援を行う。
(事業概要等)
ため池での事故等を未然に防ぐために安全対策を講じるとともに、景観等の維持のために水利組合と共同で除草等を行い、適正なため池管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,574	7,334	2,180	1,184	除草に関して水利 組合負担分あり
うち市負担分(千円)	1,361	1,026	2,015	1,019	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
草刈日数	日	15	15	15	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ため池堤体の除草を行うことで、池の景観形成につながった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 農業用水源としてのため池の保全等、維持管理に努めるとともに、ため池景観の維持に努める。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供

事業名	団体等育成支援事業	担当課名	地域経済課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津漁業協同組合と協力して、良好な漁業環境の整備を行い、安全操業の確保および漁業従事者の維持を図ることにより、市民が漁業への理解を深め、親しみやすい漁港環境を整える。
(事業概要等)
泉大津漁業協同組合が行う港内及び周辺地域の清掃・漁場の監視・漁業情報の収集等を行い水産振興対策運営事業に対して補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	267	267	267	267	
うち市負担分(千円)	267	267	267	267	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
年間港内・漁場清掃回数	回	12	12	12	12
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
港内清掃及び漁場の整備・監視等により、漁業の維持管理を図ることができた。また、漁業協同組合と立ち上げた水産業再生委員会において、今後の漁業経営の安定化に向け策定を行ったプランの実施に努めている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	漁業経営の安定化に向けて、泉大津市と泉大津漁業組合で構成する水産業再生委員会で策定を行った「浜の活力再生プラン」の実施に関して、事業を展開していく必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 漁業環境の整備によって、安全操業の確保や漁業従事者の維持を図るとともに、今後「浜の活力再生プラン」の実施により一層の漁業の活性化を進める必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進

事業名	経営所得安定対策等推進事業	担当課名	地域経済課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
営農者に対して、国が推進する経営所得安定対策等推進事業を行う泉大津市農業再生協議会の運営を支援する。
(事業概要等)
泉大津市農業再生協議会の運営及び、同協議会が行う経営所得安定対策等推進事業や地域農業振興事業、担い手育成事業に対して助成を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	428	384	329	2,057	
うち市負担分(千円)	6	1	2	7	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
交付申請者数	人	7	7	7	7
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業の活用により、営農者の農業経営の安定化が図られた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	システムのクラウド化によって経費削減が図られた。
--------	--------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業の安定対策についてJAいずみのと協議が必要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も安定した農業経営対策は必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進
事業名	農業振興対策事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内全域が市街化区域であり、営農世帯や農地等は減少傾向にあるが、農地は地元産野菜の栽培を通じた地産地消の推進以外にも緑地機能や防災機能も有することから、積極的に保全していく必要がある為、都市農業の振興や営農改善のために支援を行う。
(事業概要等)
都市農業の振興や営農改善のために、JAいずみのが主体で行う農作物契約栽培事業及び花と緑の推進事業並びに営農改善対策事業に対して補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,366	848	800	820	
うち市負担分(千円)	955	848	800	820	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
水稲作付面積	ha	12	12	12	12
農業まつり来場者数	人	3,500	-	-	3,500
アグリWeekいずみの来場者数	人	-	400	150	-
景観形成作物作付面積	ha	2	1	2	2
被災農業者に対する農業用施設の復旧支援件数(単年度)	件	2	-	-	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
厳しい農業環境のなか、一定の作付面積の確保を図ることができた。また、休耕田にレンゲやコスモスを栽培し、オープンスペースの景観形成を行い、都市景観の向上につながった。 毎年秋にJAいずみのが主催する農業まつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し、代替イベントとして「アグリWeekいずみの」を開催し、地域で生産された野菜の販売支援を行い、地産地消を推進するとともに都市農業の振興やPRを行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業振興対策についてJAいずみとの継続協議が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も都市農業の振興や営農改善対策は必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	④労働環境	2	福利厚生の充実に向けた支援

事業名	団体等育成支援事業(労働)	担当課名	人権くらしの相談課
-----	---------------	------	-----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
誰もが夢を持ち働きやすいまちをめざし、労働者の福利厚生の充実を図るため、企業・労働組合等に、安心して働くことのできる職場環境づくりのための支援を行うことを目的とする。
(事業概要等)
労働者の福利厚生の充実を図るため、労働関係事業を行う各団体へ支援を行う。商工会議所が実施する労務対策事業に、泉大津地区労働組合連絡協議会及び泉大津ゆうあい連絡会が実施する労働教育等振興対策事業に対し各々補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,147	100	144	1,360	
うち市負担分(千円)	1,147	100	144	1,360	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
メーデー及び平和活動の開催	回	3	0	2	3
福利厚生事業等の実施	回	2	1	0	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
新型コロナウイルスの感染拡大防止により、一部の行事が中止となったが、泉大津地区労働組合連絡協議会及び連合泉州地区ゆうあい連絡会の取組を支援し、健全な労使関係に基づく労働条件・環境及び制度の改善などに向けた活動の充実を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	健全な労使関係に基づく企業発展、労働条件・環境及び制度の改善等に向けた活動の充実を図った。 事務事業評価を実施する上で、事業別区分にまとめることにより事業費の改善を図った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	健全な労使関係に基づく企業発展、労働条件・環境及び制度の改善を図っているところであるが、地域の事業所や関係各所との連携の強化が必要となる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 労働福祉施策として健全な労使関係構築及び労働条件の改善など労働環境の整備や適正雇用の促進を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	④労働環境	2	福利厚生の実質に向けた支援

事業名	中小企業振興事業	担当課名	人権くらしの相談課
-----	----------	------	-----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
誰もが夢を持ち働きやすいまちをめざし、市内の企業に対して、安心して働くことのできる環境づくりのため、中小企業退職金共済法に基づく制度への加入促進を図ることを目的とした補助を行う。
(事業概要等)
市内に事業所を有する常時雇用する従業員の数が30人以下の事業所で、中小企業退職金共済法に基づき事業主負担において退職金制度に加入している者に対し、補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	159	251	356	371	
うち市負担分(千円)	159	251	356	371	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
中小企業退職金共済掛金補助金交付事業所	社	12	12	14	15
中小企業退職金共済掛金補助金交付事業所の補助対象従業員数	人	35	56	76	70
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
広報紙及び大阪府等の関係機関発行の冊子等による情報提供・情報発信を行うとともに、対象事業所の退職金制度の実質による雇用の安定及び定着増進を図ることにより、労働者の福祉の増進に寄与することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	インターネット等の情報提供媒体の拡充を行うとともに、関係機関・関係団体との連携の強化を図った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	中小企業退職金共済制度及び掛金の補助制度について、情報提供を行い更なる周知を行う事により、加入事業所の拡大を図る必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 厳しい経営環境の中、退職金制度が確立されていない事業所に対し、中小企業退職金共済法に基づく退職金制度の導入促進を図ることにより、労働環境の向上に資することができる。
	改革・改善策等の具体的内容	引き続き情報提供・情報発信を行い更なる周知に努める事により、制度への加入促進を図り、退職金制度の実質による雇用の安定及び定着増進による労働者の福祉の増進に寄与する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	④労働環境	3	労働相談体制に充実

事業名	労働相談事業	担当課名	人権くらしの相談課
-----	--------	------	-----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
誰もが夢を持ち働きやすいまちをめざし、市内在住・在勤の未組織労働者の適正雇用の推進を図り、トラブル解消と充実した職業生活に向けた相談・支援を行うことを目的とする。
(事業概要等)
泉大津地区労働組合連絡協議会と協同して設置した労働問題推進対策協議会を通じ、市内在住・在勤の未組織労働者及び雇用者の労働関係の相談事業を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,350	1,350	975	1,373	
うち市負担分(千円)	1,350	1,350	975	1,373	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
労働相談件数	件	36	39	23	28
うち土曜日・日曜日・平日夜間やメールでの労働相談件数	件	9	7	1	6
労働相談者数	人	22	29	16	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
大阪府や労働問題推進対策協議会等の関係機関、弁護士や社会保険労務士の専門家と連携し、未組織勤労者の解決型労働相談を行った。また、平成30年度から勤労者の労働実態に配慮し、時間外においても労働相談が出来るように、メールもしくはファクスによる労働相談業務の改善を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な労働問題が多様化する中、令和2年8月より、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた労働者に対する、社会保険労務士による特設労働相談を開設した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	労働相談に関する情報発信については、市広報紙を含め更なる周知に努めるとともに、多種・多様化する労働問題に対応する為に各関係機関との連携の強化を行う必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 近年の社会情勢の変化による労働問題は多種・多様化しており、市内在住・在勤の勤労者等に対し、大阪府等の関係機関や弁護士等の専門家と連携して相談を行うなど、充実した職業生活への支援に努める必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	多種・多様化する労働問題に対応する為に各関係機関との連携強化を図るとともに、担当者の研修等を充実させる。また、労働相談の更なる周知に努め、泉大津市労働問題推進対策協議会と連携を図り、相談業務体制について継続して検討していく必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	④労働環境	4	就職困難者に対する就労支援の充実

事業名	就労支援事業	担当課名	人権くらしの相談課
-----	--------	------	-----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
誰もが夢を持ち働きやすいまちをめざし、目まぐるしく変化する経済情勢に左右される就職市場の中、働きたい人が増え、企業における雇用が促進され、世代を問わず誰もがいきいきと働けるよう支援を行うことを目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・働く意欲がありながら、様々な阻害要因により就労ができない就職困難者の就労に関する相談を行い、関係機関と連携を図りながら相談者に適した就労に向けた取組み・支援を行う。 ・高石市・忠岡町及び各市町の商工団体、ハローワーク泉大津、大阪府とで泉北就職情報フェア実行委員会を設立し、就職フェア及びこれに関する事業を実施する。 ・就職困難者の就労を支援するセミナーを開催する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,103	3,137	3,171	3,206	総合相談事業交付金
うち市負担分(千円)	1,886	1,871	2,026	2,433	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
就労相談件数	件	68	79	25	50
泉北就職情報フェア(年1回開催)来場者数	人	41	102	74	100
就労に関するセミナーの開催(セミナー+フェア)	回/人	4回/28人	1回/61人	2回/33人	4回/50人
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
就職困難者に対し、就労支援コーディネーターが就労相談を行い、大阪府等の関係機関との連携を図りながら職業能力開発の為の各種講習会等の情報提供・誘導等の相談者に適した就職に向けた取組み・支援を行った。 また、高石市、忠岡町、泉大津公共職業安定所・大阪府労働環境課等の関係機関と協同してテクスピア大阪において泉北就職情報フェアを開催し、企業に有益な人材を採用する機会を提供するとともに、求職者セミナーやシニア向け仕事説明会も行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	就職情報フェア及びセミナーについて、開催市の広報紙にチラシの折り込みを行うなど広報の方法を見直した。また、市民生活応援窓口と、相談内容や支援方法についての情報交換会議を行い連携を深めた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	就労相談について、各種講習会や関係機関の情報提供等により就職に至ったにも関わらず、報告が無くその後の追跡調査が困難なケースも多く、フォローアップ等についてのスキームを確立していく必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 就職困難者の就労については、近年、障害者雇用促進法等の推進により一定の改善は進むものの、依然として厳しい状況にあり、引き続き就労に関する相談を実施し、自立と就労・雇用の促進に向けた支援を行う必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	就労相談については、広報紙やインターネット等で情報提供を行うとともに、継続する就労相談者へは、適宜連絡を取るなどしてフォローアップに努める。また、関係機関並びに庁内関係課と連携を図り、就職困難者へサポートを行い就労支援の推進に努める。